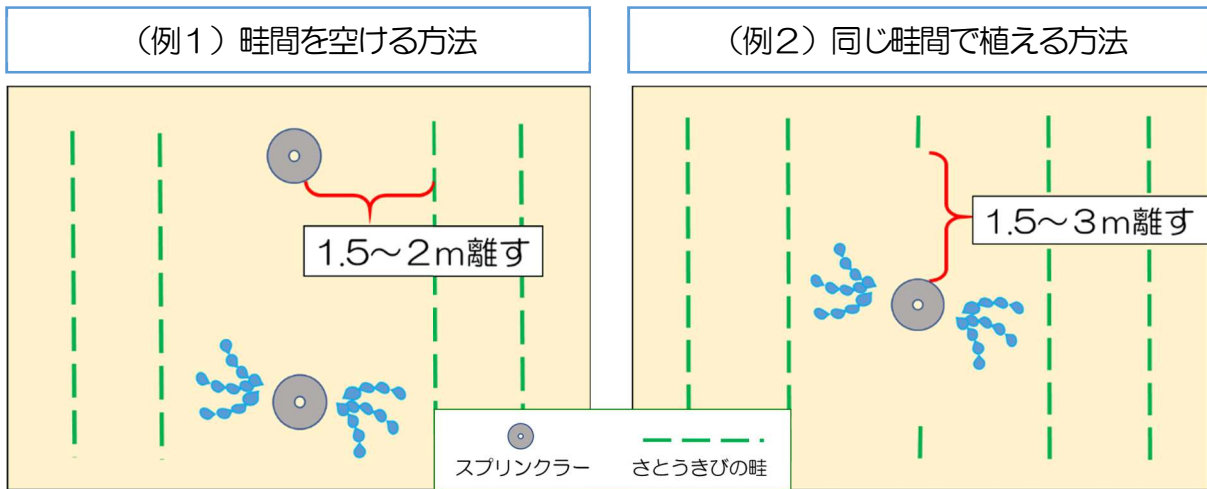


中央埋設型スプリンクラーほ場での さとうきび植付の注意点について

地中埋設型スプリンクラーは、ほ場中央（中央埋設型）又は畦畔に設置されています。中央埋設型のスプリンクラーの場合、農作業中に機械と接触し破損する事例が毎年報告され、修理代に15万円かかった事例もあります。（※スプリンクラーの設置費は現在無料ですが、修理代は自己負担です。）

さとうきびでは、スプリンクラーのすぐ近くまで苗が植えられており、オペレーターが気付かずに接触するため、ハーベスタでの収穫作業中の事故が多発しています。オペレーターが安心して作業できるように、スプリンクラーに気付きやすい植付を行いましょう（例：下図、写真）。



* 植付方法は、YouTube「沖永良部島畑かん営農ちゃんねる」で見ることができます！

さとうきびの干ばつ対策について

一番効果があるのは、かん水です。梅雨明け後の定期的なかん水（25mm/週）と夏植直後のかん水（発芽率・揃いが向上する）を実施しましょう。

また、以下の干ばつ対策も併せて実施し、単収向上に努めましょう。

- ① 干ばつ条件下でも生育のよい品種（農林23号等）を植える。
- ② 早期の植付・株出管理で、梅雨明け前に十分な生育を確保する。
- ③ 植付時の植え溝を深く（30cm程度）することで根の位置が深くなり、乾燥しにくくなる。
- ④ 堆肥の施用、ハカマ・緑肥のすき込みにより土壌の保水性を高める。
- ⑤ 雑草が多いと土壌水分の蒸散が多くなるので、雑草対策を行う。〈さとうきび栽培指針より〉